

加西市の決算状況について

平成17年4月1日から平成18年3月31日までの市の収入と支出の実績を報告します。

平成17年度決算状況

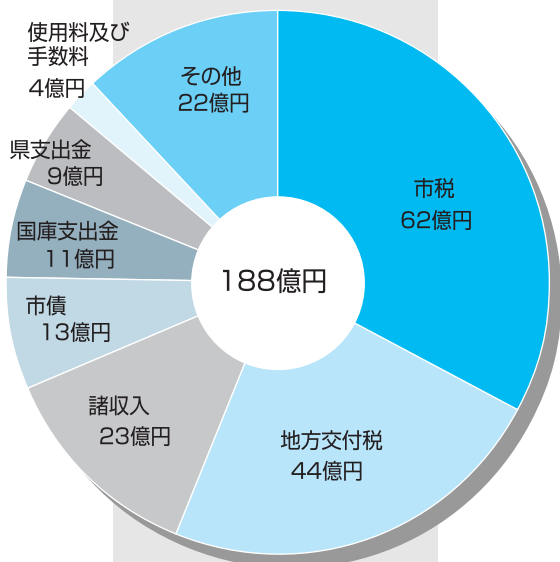
平成17年度加西市一般・特別会計、企業会計決算は、市議会9月定例会に提案され、決算特別委員会での審議を経て、12月定例会で決算認定についての採決が行われる予定です。

市会計全体の財政状況

基金（貯金）は、総額で39億4,600万円、市民1人当たり8万円となります。市債（借金）は、総額575億9400万円、市民1人当たり116万円となります。

一般会計	
歳入総額	188億2,112万3千円
歳出総額	186億8,419万5千円
差引	1億3,692万8千円
翌年へ繰越	557万円
実質収支	1億3,135万8千円
単年度収支	△3,291万4千円

一般会計



一般会計について

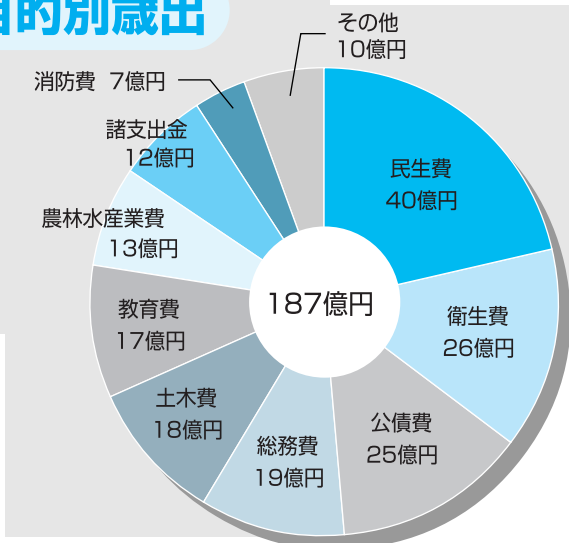
歳入決算額のうち最も多いのは、市民の皆さんに納めていただいた市民税・固定資産税などの市税収入で、62億円です。緩やかな景気回復を反映し個人市民税、法人市民税が増加したことにより、前年度と比較して1億8千万円増加しています。前年度に比べて、歳入は市税、県支出金、地方譲与税等が増加したものの、市債、地方交付税、繰越金が減少したため、合計で6億4千万円の減少になっています。

歳出は、普通建設事業費が2億8千万円、扶助費が2億6千万円、補助費等が1億4千万円増加しましたが、借換債の減により公債費が8億6千万円、財政再建推進計画に基づく歳出の削減により物件費1億8千万円、人件費1億円減少したため、合計で5億9千万円の減少になっています。

歳入歳出差引額は1億4千万円で、30年連続の黒字となりましたが、17年度実質収支から16年度実質収支を差し引いた単年度収支は、3千万円の赤字になっています。

今後、歳入の大部分を占める地方交付税の制度改正が予想され厳しい財政運営が求められています。

目的別歳出



性質別歳出

